

くすのき



西合志第一小学校
学校だより 第75号
文責 校長 西村羊治

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

HPQRコード 令和7年3月3日

電子図書

電子図書を読む5年生

合志市立図書館が採用している電子図書があります。子ども達が使用しているタブレットと図書カードの番号があれば利用できます。右の写真は、その電子図書を5年生の女の子が、教室で読んでいる様子です。その下は、合志市立図書館利用カードです。この2つがあれば、タブレットで読書できます。メリットとして、図書館まで行く必要が無い、貸し借りの手続きをタブレットで簡単にできる等があります。学校においても全学年に周知及び実施していきますが、各ご家庭においてもご活用いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。とても効果的なシステムですので、是非ご利用ください。



合志市図書カード

健康第一

2月27日、1年ぶりに人間ドックに行ってきました。58歳にもなると体のそこいら中にガタがきます。聞こえない、声が出ない、走れない、すぐ忘れる等々、いろいろな症状が出てきます。歳には抗えません。教務主任を長年やって、49歳で久しぶりの担任をした時のことです。体育の器械体操の跳び箱でのヘッドスプリングやマットでのロンダートや倒立前転などを若いときのように模範演技をしようとした時、クラスのある児童が「先生、危ないからしなくていいですよ。」と言ってくれました。その時の私の心境は、ありがたいやら歳を感じさせられるやら正直複雑な気持ちでした。でも、本当に若いときのように体が動きません。若いときのような感覚のままやってしまうと本当に怪我をしてしまいます。車の運転にしても、長距離を難なくできていたのに、今では長距離はきついです。年齢に応じた適切な行動や食事に運動が大切だとドクターに指導を受けました。脂肪代謝率やコレステロール値、また胃の入り口の閉まり具合等が良くなかったです。学校の子どものことを考えて、私が健康第一でいなければならないと思います。皆さんも、自分の健康第一で過ごしていただきたいと思います。

母さんの「あおいくま」 コロケ著

母さんのあおいくま (本の紹介)

現在、熊本日日新聞に連載中の「わたしを語る」を興味津々で読んでいます。芸人のコロケさんが筆者です。コロケさんを初めて見たのは、中学生の時の笑いスター誕生だったかも知れません。ちあきなおみのものまねをしていたのを覚えています。その頃はツービートやB&Bなどの漫オブームでした。漫才は好きでしたが、ものまねは好きではありませんでした。なので、コロケさんには興味がありませんでした。それから歳月が経ち、ただのものまねではなく、早送り野口五郎やロボット五木ひろしなど面白い工夫と素人ではできないプロの技が加わり面白くなってきました。コロケと言えばものまねしかイメージできませんでしたが、私がある書店で手に取った「母さんの『あおいくま』」という自叙伝を購入し読んだところ、コロケさん（滝川広志さん）の小さい頃からの生い立ちやお母さんやお姉さんのこと、親の反対を押し切って上京したこと、それからいろいろな苦勞をしたこと等がわかりました。今ではファンとなり、応援したい芸能人の一人となりました。

